
日本エイズ学会理事および理事長選挙結果

日本エイズ学会選挙管理委員会

1) 理事選挙結果

2007年2月19日投票締切で行われた本学会理事選挙の結果が下記の通りになったことが、本学会選挙管理委員会から岩本愛吉理事長に2007年3月14日付で報告された。

記

1. 有権者数： 1,859名
2. 有効投票者数（期限内）： 396名
3. 無効投票者数（期限後）： 9名
4. 選挙結果：（50音順）味澤 篤，池上千寿子，池田和子，市川誠一，加藤真吾，菊池 嘉，島田 勝，高橋秀実，塚原優己，山本直樹

2) 理事長選挙結果

上記10名の新理事を加えた理事21名の互選による新理事長選挙の結果は、下記の通りとなった。

記

1. 開票日：2007年3月29日（木）
2. 有権者数：21名
3. 有効投票数：18名
4. 開票結果：理事長当選者 山本 直樹
（任期：2007年4月1日～2009年3月31日）

以上

日本エイズ学会役員 (2007年度～2008年度)

理事長	山本 直樹 国立感染症研究所 <i>Naoki YAMAMOTO</i>	
理事 (庶務担当)	松下 修三 熊本大学 <i>Shuzo MATSUSHITA</i>	
(会計担当)	佐藤 裕徳 国立感染症研究所 <i>Hironori SATO</i>	
(編集担当)	杉浦 互 国立感染症研究所 <i>Wataru SUGIURA</i>	
(ホームページ担当)	高田 昇 広島大学病院 <i>Noboru TAKATA</i>	
	味澤 篤 都立駒込病院 <i>Atsushi AJISAWA</i>	菊池 嘉 国立国際医療センター <i>Yoshimi KIKUCHI</i>
	池上千寿子 NPO 法人ふれいす東京 <i>Chizuko IKEGAMI</i>	小柳 義夫 京都大学 <i>Yoshio KOYANAGI</i>
	池田 和子 国立国際医療センター <i>Kazuko IKEDA</i>	島田 勝 横浜市立大学 <i>Masaru SHIMADA</i>
	市川 誠一 名古屋市立大学大学院 <i>Seiichi ICHIKAWA</i>	白阪 琢磨 国立病院機構大阪医療センター <i>Takuma SHIRASAKA</i>
	稲葉 憲之 獨協医科大学病院 <i>Noriyuki INABA</i>	高橋 秀実 日本医科大学 <i>Hidemi TAKAHASHI</i>
	今井 光信 神奈川県衛生研究所 <i>Mitsunobu IMAI</i>	塚原 優己 国立成育医療センター <i>Yuki TSUKAHARA</i>
	岩本 愛吉 東京大学医科学研究所 <i>Aikichi IWAMOTO</i>	中瀬 克己 岡山市保健所 <i>Katsumi NAKASE</i>
	奥田 研爾 横浜市立大学 <i>Kenji OKUDA</i>	三間屋純一 静岡県立こども病院 <i>Junichi MIMAYA</i>
	加藤 真吾 慶應義塾大学 <i>Shingo KATO</i>	
監事	池田 正一 神奈川歯科大学付属横浜研修センター <i>Masakazu IKEDA</i>	木村 哲 東京通信病院 <i>Satoshi KIMURA</i>

日本エイズ学会誌編集委員会

委員長	杉浦 亙	国立感染症研究所
	<i>Wataru SUGIURA</i>	
副委員長	今井 光信	神奈川県衛生研究所
	<i>Mitsunobu IMAI</i>	
委員	味澤 篤	東京都立駒込病院
	<i>Atsushi AJISAWA</i>	
	市川 誠一	名古屋市立大学
	<i>Seiichi ICHIKAWA</i>	
	小島 賢一	荻窪病院
	<i>Kenichi KOJIMA</i>	
	高橋 秀実	日本医科大学
	<i>Hidemi TAKAHASHI</i>	
	兵藤 智佳	早稲田大学
	<i>Chika HYODO</i>	
	丸井 英二	順天堂大学
	<i>Eiji MARUI</i>	
	三間屋 純一	静岡県立こども病院
	<i>Junichi MIMAYA</i>	
	村上 努	国立感染症研究所
	<i>Tsutomu MURAKAMI</i>	

日本エイズ学会誌編集委員会記録

第37回編集委員会

日時：2007年4月20日

場所：学会誌刊行センター会議室

出席者：杉浦委員長，今井副委員長，小島，高橋，丸井，
山本各委員

高田昇ホームページ担当理事

欠席者：味澤，市川，兵藤各委員

文献紹介

HIV-1gp120上に存在する進化的に保存された中和エピトープの構造決定

Zhou T, Xu L, Dey B, Hessel AJ, Van Ryk D, Xiang SH, Yang X, Zhang MY, Zwick MB, Arthos J, Burton DR, Dimitrov DS, Sodroski J, Wyatt R, Nabel GJ, Kwong PD: Structural definition of a conserved neutralization epitope on HIV-1 gp120. *Nature* 445: 732-737, 2007

HIV/エイズが世界的に蔓延している今日もっとも求められているのはワクチンである。効果的に感染防御を達成するためには、細胞性免疫のみならず液性免疫（主に中和抗体）を効率的に誘導するワクチンが望まれる。しかしながら HIV-1 に対する中和抗体の効率的誘導は、HIV-1 エンベロープタンパク（gp120）に多量の糖鎖が付加していること、エンベロープタンパクの高頻度の変異などの理由によりこれまで成功していない。本論文では、その糖鎖による可塑性を制限する変異を導入することにより、CD4 非存在下でも CD4 と結合した高次構造を安定的にとる gp120 を作製し、広範な中和作用をもつ抗体としてよく知られている b12 との結合物の結晶構造解析を行った。その結果、b12 は CD4 結合部位の異なるウイルス株で重複している高次構造的に一定な表面に結合することが判明した。この表面は、gp120 の構造変換が起る前の CD4 の準安定的な吸着に関与している。したがって、この表面は HIV-1 中和抗体のよい標的と考えられる。実際、b12 は CD4 と比較して結合部位への結合速度が早く、解離速度が顕著に遅いことも明らかになり、これがこの抗体の効率的で広い中和スペクトルの要因と考えられた。今後は、今回明らかにされた中和抗体との結合部位の高次構造を維持した抗原を作製・免疫することによって b12 のような中和抗体を人為的に誘導できるかが興味の焦点になる。本論文は、中和抗体誘導型ワクチンの開発にとって非常に有益な情報を提供したといえる。

(国立感染症研究所 村上 努)

編集後記

本号は、エイズ学会のシンポジウム記録が主となる構成となった。学会のテーマは、「Living Together」。私事ではあるが、学会では HIV 陽性者によって書かれた手記のリーディングイベント「Living Together コンサート」の前座を務めた。いわゆる学術知見を報告するという発表では得ることのできない貴重な経験である。このように多くの HIV 陽性者の参加や声とともに盛り上がりを見せたエイズ学会での報告が広く読書に届けられることを非常に嬉しく思う。収録論文にもあるように医療従事者の努力の上で HAART 療法が日々めざましく進化した中、HIV をめぐる現状は、「HIV 陽性者が様々な医療や支援サービスを受けつつ長期に渡ってどう生きるか」の段階に入ってきている。そのためには、医療機関のみならず、陽性者が生活するための支援がさらに重要な役割を果たすことになる。シンポジウム記録も、まさにそうした視点から「よりよい生活を

していくための支援がどうあるべきか」についての議論が多くを占めているといえよう。特に、今回は「滞在ビザのない在日外国人の医療のアクセス問題」、「妊娠・出産を望む HIV 陽性女性への対応」など、陽性者の中でもさらに弱い立場におかれる人々への支援についての議論が積極的に紹介されていることは、今後のエイズ対策にむけての示唆に富むものであろう。こうした少数派の問題は、エイズ対策の周辺にある問題ではなく、この問題から炙り出される「日本のエイズ対策における構造問題」の提起となっていることを願いたい。また、本号では、検査体制についても積極的な問題提起がなされている。現在、各地のエイズ対策の中では、「抗体検査の数が増えること」が重要な指標として推進されつつある。検査による早期発見、早期治療の重要性は言うまでもないが、「どのように検査が行われているか」、「誰のために検査が行われているか」についてはあらためて評価と議論が必要であろう。

(兵藤智佳)

複写をされる方に

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

(中法) 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

TEL : 03-3475-5618 FAX : 03-3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、下記へ。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone : 1-978-750-8400, FAX : 1-978-646-8600

Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

Phone : 81-3-3475-5618 FAX : 81-3-3475-5619

E-mail : jaacc@mtd.biglobe.ne.jp

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone : 1-978-750-8400, FAX : 1-978-646-8600

日本エイズ学会誌 (季刊)

第9巻第2号

2007年5月20日発行©

定価 3,500円 (税別)

編集・発行者

山本直樹

日本エイズ学会

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル 2F

株式会社 毎日学術フォーラム 内

電話 03-6267-4550, FAX 03-6267-4555

財団法人 学会誌刊行センター

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16

電話 03-3817-5821

製 作

印 刷 所

創文印刷工業株式会社